

陳情第 1 5 7 号	受理年月日	令和元年 1 2 月 3 日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	全国学力調査をしつ皆式から抽出式の調査に改めることを求める意見書の提出について	
要旨	<p>文部科学省は 2007 年より、全国の小学校 6 年生、中学校 3 年生を対象に、全国学力調査を行ってきた。全員参加方式（しつ皆式）で実施され、学校別の成績の開示も可能にされたことで、今日では都道府県や政令指定都市などの地方自治体の間だけでなく学校間の点数競争を引き起こし、子供たちに多大なストレスを与えていることは、国連子どもの権利委員会も日本政府に指摘している。</p> <p>また、過重労働が問題視されている教員も、テストの分析と対策に追われ疲弊している。それに加え、教員不足が社会問題となり、全ての教室、教科に教員を確保することさえできていない状況の中で、大企業が実施する全国学力調査に毎年 50 億円を超える税金を費やしていることは、矛盾を感じずにいられない。</p> <p>ついては、子供や教員への深刻な影響を懸念し、政府に対し、全国学力調査は抽出式で実施することを求める別紙意見書を提出していただきたい。</p>	